

VI. その他

1. 看護学科、大学院看護学専攻が、附属病院、地域住民、地方自治体および地方の保健医療福祉機関と連携し、地域住民の健康と生きる力を看護の力で支える活動を組織的に展開することを目的とする地域連携看護学実践研究センター（JANPセンター）が開設4年目を迎えた。みんなの活動、みんなのまなび場、みんなの保健室の3部門の活動とともに、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、臨地実習の機会の少なかった卒業生の臨床現場への移行期支援を行った。
2. 日本看護学教育評価機構（JABNE）の看護学教育評価を受審し、「適合」の評価を得た。
認証期間：2022年4月1日～2029年3月31日

(3) 大学院

I. 医学研究科医学系専攻博士課程

大学院の授業・研究・制度等について、改善と充実を図るため、大学院委員会において種々の検討を重ね、2021年度は次の事項を実施した。

1. 研究助成制度の運営について
研究の充実と活性化を堅持することを目的として、各種研究助成制度を運営している。2021年度の採択件数は次のとおりである。
 - 1) 大学院研究助成金
・2021年度採択件数：16件
 - 2) 医学研究科研究推進費
・2021年度採択件数：新規2件、継続2件
 - 3) 萌芽的共同研究推進費
・2021年度採択件数：新規5件
2. がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」の継続について
筑波大学を代表校とする文部科学省がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」に連携12大学のひとつとして加わり、①がんゲノム医療人養成、②小児・AYA・希少がん専門医療人養成、③包括的ライフステージサポート医療人養成の3コースを設けており、2021年度は15名が新規で受講登録をした。
3. 国立がん研究センターとの連携大学院について
2021年度は6名の連携大学院生が課程を修了（学位取得）した。また、連携大学院教授の学位論文審査委員会審査委員への任用も行われた。1月14日に「第3回連携大学院生による研究発表会」をオンラインで開催し、大学院生22名、教職員20名が参加した。
4. 国立精神・神経医療研究センターとの連携大学院について
2021年度より国立精神・神経医療研究センターと連携大学院制度を開始し、10月1日に合同シンポジウムをオンラインで開催した。また、連携大学院准教授の学位論文審査委員会審査委員への任用も行われた。
5. 入学試験について
2022年度の大学院医学研究科医学系専攻博士課程入試について、一次募集は2021年9月25日に、二次募集は2022年1月22日に実施した。42名（うち社会人21名）が合格し、国立がん研究センターの連携大学院生は10名、国立精神・神経医療研究センターの連携大学院生は4名である。本学の大学院生は学内の各講座、総合医科学研究センターのみならず、東京大学、京都大学、九州大学、慶應義塾大学、杏林大学、東京女子医科大学、日本医科大学、東京医科歯科大学、東海大学、国立成育医療研究センター、国立国際医療研究センターなど国内の様々な国公私立大学、研究所で広く研究を行っている。
6. その他
 - 1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、共通カリキュラムは対面式講義から遠隔講義に切り替え、eラーニングやオンライン会議システムを活用した。

II. 医学研究科看護学専攻博士前期課程・後期課程

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、遠隔授業を主としたが、学修効果の必要性に応じ登校授業も併用した。感染対策部と連携を図り、感染対策に万全を期した。

1. Faculty Development (FD) の実施について

2021年7月24日に、酒井 郁子先生（千葉大学大学院看護学研究院 先端実践看護学研究部門 高度実践看護学講座 教授、附属専門職連携教育研究センター長、医学部附属病院総合医療教育研修副センター長）を招聘し、「回復期リハビリテーション病棟におけるEBP（Evidence-Based Practice）、実装研究の実際」をテーマに講演会を開催し、48名が受講した。

2. 研究助成制度について

学生に対する教育研究助成は大学院研究助成制度と研究指導費からの助成を活用しており、2021年度の大学院研究助成制度採択者は、博士前期課程12名、博士後期課程1名であった。

3. がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」の受講状況について

2021年度に入学したがん看護学領域の学生3名が、「包括的ライフステージサポート医療人養成コース」に登録した。

4. 静岡がんセンターとの専門性強化に向けた連携について

看護学教育、看護研究並びに医療、公衆衛生に関する教育研究の連携について、静岡がんセンターと協定を締結しており、2021年度はがん看護学領域に1名の学生が入学した。

5. 入学試験について

・看護学専攻博士前期課程

入学説明会を2021年7月6日に実施し、11名が参加した。

出願資格認定試験：2021年9月5日に、小論文、口頭試問、課題レポートおよび書類審査を実施し、出願者1名が合格した。

入 学 試 験：2021年9月12日に専門科目および外国語（英語）、面接を実施した。

11名の応募があり、8名が合格した。

・看護学専攻博士後期課程

入学説明会を2021年7月6日に実施したが、参加者はいなかった。（当日欠席1名）

入学試験出願期間：2021年7月22日から8月23日（一次募集）

2021年11月24日から12月23日（二次募集）

入 学 試 験：一次募集、二次募集ともに応募者がおらず、実施しなかった。

6. 博士前期課程修了式について

2019年度入学生3名（長期履修生）と2020年度入学生7名の修了式を、2022年3月22日に挙行了した。

7. 教育課程の評価と改善について

学生による授業評価は、講義終了後に科目責任者と履修生が講義内容について評価を行う方式と修了生を対象に自由記載のアンケート方式を実施して評価する。その評価結果を基に科目ごとの評価・検証を行い授業改善につなげた。また、今年度は修士論文・博士論文進捗状況アンケートを行い、学生からの意見を基に研究計画審査確認期間を短縮するなど研究計画審査体制を改善した。

8. 高度実践看護師教育課程（専門看護師）について

急性・重症患者専門看護師認定審査に5名の修了生が受験し、4名（うち1名は更新審査）が合格した。また、がん専門看護師更新審査に1名が合格した。

9. 看護学専攻博士後期課程について

2019年度より看護学専攻博士後期課程を設置し、2021年度（三期生）は2名の学生が入学した。また、今年度は一期生が修了する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で研究に遅滞が生じ、修了には至らなかった。

III. その他

1. 大学院医学研究科に新たに医科学専攻を新設し、認定遺伝カウンセラー養成のための修士課程

(2年課程)を設置すべく3月17日付で文部科学省に設置認可申請書を提出した。
尚、入学定員は2名、収容定員は4名であり、2023年4月1日の開設を予定している。

(4) 大学および大学院の現況 (別添資料)

1. 学生数の状況について

(2021年4月1日現在)

		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
医学部	医学科	110	110	660	660
	看護学科	60	60	240	239
大学院	医学系専攻	66	36	264	157
	看護学専攻博士 (前期博士課程)	10	8	20	23
	看護学専攻博士 (後期博士課程)	3	2	9	7

2. 収容定員充足率

(2021年4月1日現在)

		2021年度
医学部	医学科	100%
	看護学科	99.5%
大学院	医学系専攻	59.4%
	看護学専攻博士 (前期博士課程)	115%
	看護学専攻博士 (後期博士課程)	77.7%

3. 3ポリシーについて (ディプロマ・ポリシー・アドミッション・ポリシー・カリキュラム・ポリシー)

【医学部医学科】

・ディプロマ・ポリシー

本学は、医学科達成指針に示す各到達目標を達成した学生に学士 (医学) の学位を授与します。
医学科達成指針

1. 医学を学び、また研究する際の基本的な考え方を身につけ、自律的に実践する
 - ・人間と社会に対する洞察力
 - ・他者の存在を受け入れてその考えを理解する力
 - ・人類文明がよって立つ自然科学への基本的理解力
 - ・自己主導型学修習慣と自己研鑽能力
2. 自己の人間性を高め、倫理的・科学的判断能力を磨く
 - ・豊かな人間性と人類愛
 - ・多様な立場の人々と良好に意思疎通する力
 - ・自分の考えを適切に表現して他者の理解を得ることができる力
 - ・社会人・国際人としての教養とマナー
 - ・国際人の視点と異なる文化を持つ人々と交流する力
 - ・道徳的思考力と倫理的判断力
 - ・探究する心と科学的判断力
3. 医学の基本的知識を修得する
 - ・基礎医学および医学に関連する科学の基本的知識
 - ・臨床医学および医療の基本的知識
 - ・国内外の公衆衛生を含む社会医学に関する基本的知識
4. 医学の基本的技能を修得する
 - ・医学知識を臨床実践に活用する力